

# 確定拠出年金 掛金拠出の効果

## 税制効果、社会保険料の軽減効果

(月額給与30万円の社員が毎月2万円を拠出した場合)

年齢	30
給与(月額)	300,000
確定拠出年金掛金(月額)	20,000

	現状①		確定拠出年金加入後②		導入効果③ (②-①)	
	月額	年額	月額	年額	月額	年額
給与	300,000	3,600,000	<b>245,000</b>	2,940,000	-	-
交通費	0	0	<b>0</b>	0	-	-
生涯設計手当	0	0	<b>55,000</b>	660,000	-	-
確定拠出年金掛金	0	0	<b>20,000</b>	240,000	-	-
<b>差引給与額(交通費込)</b>	<b>300,000</b>	<b>3,600,000</b>	<b>280,000</b>	<b>3,360,000</b>	-	-
厚生年金保険料	26,160	313,920	24,416	292,992	<b>-1,744</b>	<b>-20,928</b>
(標準報酬等級)	18等級	-	17等級	-	-	-
健康保険料	14,955	179,460	13,958	167,496	<b>-997</b>	<b>-11,964</b>
(標準報酬等級)	22等級	-	21等級	-	-	-
雇用保険料	1,500	18,000	1,400	16,800	<b>-100</b>	<b>-1,200</b>
社会保険料合計	42,615	511,380	39,774	477,288	<b>-2,841</b>	<b>-34,092</b>
給与所得	-	2,340,000	-	2,172,000	-	-
基礎控除(所得税)	-	380,000	-	380,000	-	-
課税所得(千円未満切捨)	-	1,960,000	-	1,792,000	-	-
所得税(百円未満切捨)	-	102,600	-	91,400	-	<b>-11,200</b>
(復興特別所得税を含む課税所得税率)	-	10.210%	-	5.105%	-	-
住民税	-	149,800	-	136,400	-	<b>-13,400</b>
(住民税率)	-	10%	-	10%	-	-
						<b>-58,692</b>
						<b>社会保険料+所得税+住民税の減額合計</b>

### 留意点

- ① 標準報酬等級が下がることにより、将来支給される老齢厚生年金の額が減少します。
- ② 平成26年9月分(10月納付分)からの健康保険・厚生年金保険の保険料額表で試算しています。
- ③ 住民税の減税効果は翌年の減税効果となります。